

# 福島県砂防ボランティア協会活動報告

令和5年11月30日（木）

福島市立清明小学校（4年生26人）

福島県砂防ボランティア協会 県北班4人

福島県県北建設事務所

2人



模型を使って土砂災害の現象及びメカニズムを児童たちに説明した。土砂崩れ及び土石流の対策工として法枠工、待受工及び砂防堰堤を紹介し、施工前後の土砂災害発生時の様子を実験により説明することで、児童たちが視覚的に疑似体験をすることができた。最後にハード対策のみならず避難の重要性について言及することで、土砂災害に対する関心を引き出した。子供たちも興味を持って学習に望んでおり、この模型実験では、崩れた土砂だけでなく子供たちの心もとらえることができたのではないかと。